

★ 今年度の外来診療日について ★

次の日程を通常診療日とします。

- ・ 9/23(月)【秋分の日】
- ・ 10/22(火)【天皇の即位礼正殿の儀】
- ・ 1/4(土)、ただし年末年始の 12/28(土)は休診

(1) 医師から皆さまへく頸動脈エコーの勧め～動脈硬化にご用心～

皆様は動脈硬化についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。動脈硬化はそれ自体、何の症状も出さない病気ですが、水道管が傷むように知らない間に少しずつ血管が傷んでいく病気です。各臓器の血行障害の原因になったり、ある日突然血管が詰まって心筋梗塞や脳梗塞といった重大な疾患を引き起こす原因になります。さて、そんな動脈硬化ですが、今回ご紹介する頸動脈エコーは動脈硬化を詳しく見ることのできる検査です。

エコー検査は体の色々な部位の評価に用いられている検査で、体表に当てた診断装置から超音波を照射し、反射波を受信して体内の構造を画像化する検査です。身体への影響や苦痛がなく、何度も繰り返し行える安全な検査です。お母さんのお腹の中にある赤ちゃんの様子を観察する胎児エコー、脂肪肝や胆石症をチェックする腹部エコー、心臓の動きや心臓弁をチェックする心臓エコーなどが代表的なエコー検査ですが、頸動脈の様子を評価する頸動脈エコーもしばしば行われる検査です。

頸動脈は心臓から脳に血液を送る重要な血管で、太い動脈でありながら体表から浅いところを走行するので、エコー検査で詳細に観察することができます。頸動脈エコーでは動脈硬化の進行具合を評価することができるほか、頸動脈が細くなる疾患(頸動脈狭窄症)を診断することができます。検査は横になって頂くだけで苦痛はなく、30分ほどで終了します。

糖尿病、脂質異常症、高血圧等の生活習慣病を患っておられる患者様や喫煙習慣のある方は動脈硬化が進行し、冠動脈疾患(狭心症、心筋梗塞)や脳梗塞を発症しやすいことが知られています。生活習慣病の治療を受けておられる方は心臓や脳の重大な疾患を発症する前に頸動脈エコー検査で動脈硬化の進行具合

を評価し、動脈硬化を抑止するための治療を十分に行うことが大切です。また、過去に脳梗塞や心筋梗塞を起こされたことがある方も検査を受けて頂くことをお勧めします。

頸動脈の血管内腔が狭くなる頸動脈狭窄症は脳梗塞の原因となる重大な疾患です。デコボコしたり狭くなったりした血管の内壁では血栓(血管内に発生した血の塊)ができやすく、この血栓が血流に乗って脳に流れ、脳血管が詰まってしまうことがあります。どの血管が詰まるのかによって症状は異なりますが、比較的太い血管が詰まったり、複数の血管が詰まったりすることがあり、脳梗塞の中でも重症になることが多く見られます。進行した頸動脈狭窄症では細くなった血管を広げるための手術が必要になります。ただし、ほとんどの場合は薬物治療で対応可能ですのでご安心ください。薬物治療は生活習慣病の厳密な管理が基本であり、必要に応じて抗血栓薬(血液をサラサラにする薬)を使用します。手術には頸動脈を直接切開し、血管の中に溜まった動脈硬化成分を切除する血栓内膜剥離術と、カテーテルの手技を用いて筒状の金属(ステント)で血管を広げる頸動脈ステント術があります。どちらの手術が適しているかはご年齢、動脈硬化成分の硬さ、狭窄部位の位置など、様々な要素で総合的に判断します。

頸動脈エコー検査は安全にかつ苦痛なく動脈硬化について詳細な情報を得ることができる検査です。自己負担3割の患者様で検査費用は1700円程度とされています。脳ドックでも標準的に行われている検査です。生活習慣病をお持ちの方やご家族に動脈硬化関連の持病のある方は一度主治医にご相談し、頸動脈エコー検査をお受けになられては如何でしょうか。

総合診療部 部長 宮原 永治
(脳神経外科外来担当:火曜午後)

(2) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演題:それって、ほんま?(最終回)
『自分で考える大切さ!!』
- ・講師:非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日時:6月20日(木) 14:00~14:50
- ・場所:明和病院 南館5階 明和ホール東



(3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演題:膝と関節痛の予防と治療
- ・講師:整形外科医員 岡 真也
- ・日時:6月25日(火) 14:00~15:30
- ・場所:鳴尾公民館(Tel 47-3838)

- ・演題:認知症の話
- ・講師:訪問看護センター明和 主任
山形 まゆ美・中島 淳美
- ・日時:6月26日(水) 14:00~15:30
- ・場所:南甲子園公民館(Tel 49-4741)